

2019 年度報告

<p>(1) 入試関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 1 関連) – 2020 年度を見据えた各学部・研究科における入試制度改革の実施状況 –</p>
<p>① 高大接続テスト 2020 年度に実施のための検討・実施日程等準備の進捗 高大接続テスト ・早稲田大学進学後に学術・研究の途を進むにあたって求められる基本的な知識・技能がどの程度身についているか確認するテスト ・実施教科： 国語・数学・英語 (4 技能外部試験 GTEC Advanced 活用) ・実施日程 2021 年 1 月を目途とする</p>
<p>② 英語 4 技能外部試験 GTEC Advanced を 2019 年度 2 年生全員対象に実施</p>

<p>(2) 教育関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 2、3、4 関連) – グローバルリーダー育成にむけた、各学術院・学院・学校における取り組み状況 –</p>
<p>① グローバルリーダー育成に向けた特色ある英語授業講座「英語応用」の開発・実施準備 「英語応用」(2 年文系コース選択 2 単位) 英語について高い能力と意欲を有する生徒に、さらにその能力を育成・伸張する授業を開発し提供し、大学入学の早い段階で、ダブル・ディグリー・プログラムや留学に挑戦できるようにすることを目指す授業プログラムを開発し、テキストを編纂・発行して授業を展開した。少人数クラス編成は実現に至らず。</p>
<p>② グローバルリーダー育成に向けた特色ある英語授業講座「コミュニケーション英語Ⅲ(a)」の開発・実施 「コミュニケーション英語Ⅲ(a)」(3 年必修 1 単位) 2019 年度「コミュニケーション英語Ⅲ(a)」(3 年必修 1 単位) をクラス分割編成による少人数クラスにて「アカデミック・プレゼンテーション」構築の授業として実施した。SDGs を共通テーマとしたことも含め、担当教員による授業開発活動を含めて活発な授業展開と学校行事で下級学年への発表機会を実現した。</p>
<p>③ 第二外国語のグローバル化に対応した授業デザイン作成 仏語科においては、パリに新たな協定校の開拓と協定締結を完了した。グローバル化に対応した外国語教育推進事業拠点校として、高等学院仏語科教員が策定の中心的役割を果たしたグローバル化に対応する「フランス語の学習指針」に基づく範例となる授業開発を推進した。ロシア語科・中国語科においては、短期留学生の派遣・受け入れを含む活発な国際交流活動が展開された。ドイツ語科においては、ゲーティンスティチュートとの協定改定が難航したが、新たにベルリンの協定校の来校と次年度以降の交流計画の議論が進捗した。</p>

<p>(3) 研究関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 7、9 関連) – 研究の国際展開のための戦略策定に向けた取り組み状況 –</p>
<p>① 研究年誌 64 号発行 特定課題研究の促進とサポート</p>
<p>② Vision150 推進に寄与すべく STEM 国際共同研究 (科学・技術・数学にかかわる国際共同研究) の 2020</p>

年度開始を目途に準備を進めた。

(4) 国際関連 (Waseda Vision 150 核心戦略8 関連)

－ 派遣留学、留学受入促進に向けた環境整備への取り組み状況等 －

① 1年間の留学期間を含んで3年間で卒業できる留学制度 (二種留学) が周知され年度により増減があるとはいえ活用が定着し、二種留学と合わせて年間留学が増加傾向 (18年度 10名 19年度 14名) にある。

② 2019年度にフランス ロクワワ高等学校 (パリ) と協定締結を完了した。

留学実施には至らなかったが、Education New Zealand と協定を締結した。

フランス・ドイツ・ロシア・中国・韓国・豪州と短期派遣・受入れ交流が実現した。

米国シアトルにて、企業訪問を含む初級者向き語学研修を開発・実施した。

2019年度の学術協定締結校 8 (+1) ・機関 3 (+1) となった。() 内は 2018年度比

② STEM 国際共同研究事業の検討を進め、2020年度実施を目途に準備を進めた。

* 年度後半の新型コロナウイルスによる感染の世界的拡大により交流事業の規模縮小を余儀なくされた。

以上